

プレス・アルマイト処理の一連化で 高品質・低不良率実現

- コスト相談
- メイトインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



アルマイト処理加工する陽極酸化皮膜処理装置

業務内容
国内餅つき器メーカーの
ホッパーはシェア100%

プレス加工、アルマイト処理加工、フッ素耐熱塗装を同一工場内で一貫生産する。アルミやステンレスなどの非鉄金属をプレス加工し、炊飯器内釜と関連部品、餅つき器ホッパー（内容器）、食品用トレイ・容器、薬品輸送用容器、キャンプ用コッヘル（炊事用具）、コンデンサーケースなどを製造する。国内餅つき器メーカー全てのホッパーはここで生産する。

アルマイト処理加工は食に関連した電気用品部品から工業用部品まで幅広い。フッ素・耐熱塗装加工は食品加工用機器のフッ素加工、家庭用フライパンの再コーティング、金型表面へのフッ素加工、ガス器具の耐熱塗装などに対応する。

強み
同一工場内にプレス加工と
アルマイト処理加工設備を保有

プレス加工、アルマイト処理加工の両設備を同一工場内で保有するのが最大の強み。品質管理が容易なうえ、輸送の手間が省け低コストで供給できる。「同一工場内で両設備を保有するのは当社だけ」と子安真一社長は自負する。ドローイングプレス機（深絞り加工機）を5台保有し、金型技術を駆使したテーパー形状の深絞り加工を得意とする。代表的な製品が餅つき機用ホッパーで、10工程以上の成形加工を行う。またフッ素コーティング済み材料の深絞り加工も行なっている。酸化皮膜処理のアルマイト加工では3種類の処理槽を保有し、プレス工場からそのまま処理槽に投入でき、量産性に優れる。

技術深耕
金属容器製造の
プロ集団を目指す

溶接という技法を使わない「金属容器製造のプロ集団」を目指し、深絞り技術とアルマイト

処理技術の深耕を目標に掲げる。平成28年初めに、同内容の引き合いが商社など10数社から舞い込み、製作に取り組んだのが薬品原薬の輸送容器（バルク）。1枚の板から造る生産工程と、薬品を使わない加圧水蒸気による表面の封孔処理で安全性と密封性を高める技術などが評価された。同年7月から量産を開始し海外向けワンウェイ容器として重宝されており、新たな事業の1つに育てる。

大型アルミ容器の魚まかんも平成24年にストップした受注が戻ってきた。食品加工工場の間保管用などに利用される容器で、金型製作など同社にしかないノウハウが再認識されたためだ。

今後の展望
ドローイングプレス機の
深絞り加工技術を継承

業務の拡大に伴って、平成26年にアルマイトラインと付帯設備を新設した。平成28年度はアルマイトの蒸気封孔処理設備の増設を計画している。また省エネ対策の一環として、平成28年には工場内全照明をLED（発光ダイオード）に取り替えた。

中核技術の深絞り加工を行ううえで必要不可欠なドローイングプレス機は、職人的な「感性」を必要とする機械で、その機械に従事する作業者は60歳代を筆頭に20歳代までの7名の技術者を充てている。全員がそれらの調整を行えるよう、加工技術の継承も怠ることはない。



300tトランスファープレス



本社工場

当社の歴史



昭和10年に大阪市西成区で創業。終戦後、家庭用金物の製造販売に乗り出し、昭和43年現在地に本社・工場を移転しました。昭和47年にアルマイト設備を新設し、以来プレス加工・アルマイト処理加工・フッ素耐熱塗装を、同一工場内で一貫生産を行っています。

代表取締役社長 子安 真一さん

<http://www.ohata-metal.com/>

ISO 14001

主な事業内容

プレス加工、アルマイト処理加工、フッ素・耐熱塗装加工

主な取引先(納入先)

家電メーカー、キャンプ用品メーカー、流通機器メーカー、コンデンサーメーカー、製薬メーカーなど

- 住所 〒583-0867 羽曳野市 河原城830-1
- TEL 072-939-2501
- FAX 072-939-2522
- 創業 昭和10年10月
- 設立 昭和24年9月
- 資本金 1,044万円
- 従業員 68名